

## 申1号 第28回定期大会発言に基づく申し入れを行う!

JR東労組は、6月26日～28日にかけて大宮地本の万全準備のもと第28回定期大会を開催しました。結成25年の節目である今大会では、国鉄改革の原点に立ち、全組合員・家族の雇用と生活を守り抜くと同時に、東日本大震災の教訓を踏まえ災害・異常時に強い安全な鉄道をつくり出すことを全体で確認しました。私たちは国鉄改革以降、労使の真摯な議論を通じて、今日のJR東日本会社を築き上げてきました。しかし、職場では労働協約の運用が一方的に変更され、会議室の使用制限がかけられ施策の議論が出来ない実態に対し怒りの発言が出されました。この国鉄改革を否定するような異常な職場管理を認めるわけにはいきません。本部は数多くの怒りの発言を受け止め将来を展望した諸問題解決に向け申し入れを行いました。申し入れ内容は以下の通りです。



### ■申し入れ項目

1. 信義誠実の原則に基づき、労働協約を遵守した職場体制を確立すること。
2. 指導担当及び指導操縦者等を「組合色」によって選別する不当労働行為を直ちに止めること。
3. 災害に強い鉄道と職場を創るために、全職場にテレビを設置し、車両にはラジオを搭載すること。
4. 今後、雇用期間満了をむかえるグリーンスタッフを正社員化すること。また、雇用不安を解消するため、グリーンスタッフ制度を廃止すること。
5. エルダー社員をはじめとしたグループ会社従事者にとって働きがいのある職場環境を実現するため、各支社別グループ会社の労働条件を向上させること。
6. 2014年に予定されている北陸新幹線金沢延伸に伴い、今後の現業機関等のあり方を具体的に明らかにすること。
7. 4月29日に発生した関越道ツアーバス事故を踏まえ、ジェイアールバス関東およびジェイアール東北会社での事故を未然に防止するため、車線逸脱注意喚起装置、運転意識低下注意喚起装置および衝突軽減自動ブレーキ装置等の安全装置を配備すること。
8. 東日本大震災で被災した線区の復旧は鉄道による復旧とすること。またBRTにより仮復旧を予定している線区の復旧スケジュールを明らかにすること。
9. 福島第一原発事故の影響により、放射線数値が高い地域で作業をおこなう場合の放射線管理基準を設けること。また、原発事故に伴い立ち入り禁止区域等から避難している社員にモニター制度を適用し、自主避難者に社宅使用を許可すること。
10. ライフサイクルの深度化の趣旨に基づき、「運輸のフロ」として復帰した社員を安全や技術継承をおこなう担務に指定すること。